

志高く学び続けるプロフェッショナル-2年総合-

8月27日、2年総合的な学習の時間「学ぶこと、働くことを通して、生き方を見つめる」学習の一環として、バスケットボール男子Bリーグ1部秋田ノーザンハピネッツの長谷川暢（のぼる）選手を招いて講話会を行いました。埼玉県の中学校で全国制覇を果たした長谷川選手が高校、大学へと進学してプロになるまでを、学ぶことと関連付けて生徒に語り掛けてくださいました。高校では我が秋田県立能代工業に進学して更にバスケットボールに打ち込む一方で、学校の成績で進路が限られないように授業に集中したという長谷川選手。教員を目指して進んだ早稲田大学では、人生は一度きりで後悔したくないと子どもの頃からの憧れであるプロへの挑戦を決めたとのことでした。「自分の可能性の幅を広げるために勉強する」「チームの勝利に貢献でき、仕事をして喜んでくれる人がいる時、やりがいを感じる」など、本校の教育目標の「志高く学ぶ」ことについて教えてくださった貴重な時間となりました。バレーボール部主将の船木璃子さんは「正しい努力をすると周りが自分に付いてきてくれたり、応援してくれたりするということが一番印象に残った。自分たちのチームの目標は『応援されるチーム』なので、正しい努力をしたり、当たり前前を当たり前前にしたりすることは大切だと思った」との感想をもちました。経験を熱く語る長谷川選手



食物繊維がもつ力-1年総合-

1年総合的な学習の時間では食と健康に関する課題を追究していることはこれまでも紹介してきました。8月26日には、「玄米食について考える」をテーマに日本人の主食である米について見直す機会を持ちました。日本人の食品群別（米、野菜、果物、魚、肉など）摂取量の変化では、ご飯よりパンが多く食べられ、肉類の摂取が増える食事の欧米化が進んでいると考えた生徒が多くいました。この後、米に焦点を当て、玄米と白米を比較して栄養価や味覚の違いについて考える時間を設けました。まずは実物を観察して色や形状の違いを比べた結果、玄米は茶色で大きく、胚芽の部分が残っているということに気付いたようでした。次に下表を示し、いかに玄米の栄養価が優れているかを捉えることができました。

炊いたご飯 100g 当たりの栄養価			
	玄米	白米	白米との比較
カロリー	165kcal	168cal	98%
たんぱく質	2.8g	2.5g	112%
脂質	1.0g	0.3g	333%
繊維	1.4g	0.3g	467%
灰分	0.6g	0.1g	600%
カルシウム	7 mg	3 mg	233%
磷	130 mg	34 mg	382%
鉄	0.6 mg	0.1 mg	600%
ビタミンB1	0.16 mg	0.02 mg	800%
ビタミンB2	0.02 mg	0.01 mg	200%
ナイアシン	2.9 mg	0.2 mg	1450%
ビタミンB6	0.21 mg	0.02 mg	1050%

本プログラムの核心は食物繊維にあります。玄米を主食とする人の食物腸内通過時間は白米の半分、大分量は白米の4倍ということです。

9月の行事予定

2	水	部活動休止日 男鹿工業高校体験入学
6	日	全県一斉部活動休止日
7	月	教育実習（秋田公立美術大学）
9	水	部活動休止日 市郡教科外研修会（3校時・給食で下校）
12	土	市郡中学校秋季陸上大会
16	水	部活動休止日 生徒会委員会
18	金	3年学習講演会 金足農業高校体験入学
19	土	市郡中学校秋季体育大会
20	日	市郡中学校秋季体育大会
21	月	敬老の日
22	火	秋分の日
23	水	振替休業日（19日分） テスト前部活動休止～26日
25	金	1年耳鼻科検診
27	日	県秋季陸上大会
28	月	前期期末テスト
29	火	1年交通安全指導教室
30	水	部活動休止日 中央教育事務所長訪問

◆校内外の行事等の変更・中止のお知らせ◆

- ◎前期終業式・後期始業  
10月8日（木）実施【変更】
- ◎東中祭 10月9日（金）実施【変更】
- ◎秋季休業 10月10日（土）から同13日（火）まで【今年度から】
- ◎後期始業  
10月14日（水）【今年度から】
- ◎市PTA連合会親善ソフトバレーボール大会 10月17日（土）【中止】
- ◎学力向上フォーラム 11月7日（土）【中止】→11月9日（月）授業日
- ◆ご芳志・寄贈等のお知らせ◆
- ◎雑巾 男鹿市老人クラブ連合会 様
- ◎ピクチャーカード 吉田啓子 様

学ぶことと働くことをつなぐキャリア教育 EPISODE3

学生時代は学ぶことが働くこと

子供たちが自立した社会人、職業人として自分の人生を歩んでいくことができるようになるためには、様々な知識や能力、態度を身に付けておく必要があります。これらの力はある年齢に達すると身に付いているものではなく、心身の発育・発達と相まって学校や家庭、地域社会での学びや経験を通して、徐々に高まっていきます。特に学校生活は「学ぶこと」が中心ですが、これは知識を身に付けるための時間ではありません。子供たちは授業や学校行事、その過程での様々な他者との関わりを通して、次のような力を身に付けていきます。

- ①身に付けた知識や技能を使いこなす能力（基礎練習だけで終わる部活動、試合のない部活動は楽しくないのと同様、応用・活用してこそ、知識・技能は生かされる）
- ②分からないことを解決する意欲や態度（社会で、職場で人に教を請うことは大切）
- ③努力が報われた経験から「努力が大切だ」という価値観
- ④人と何かを成し遂げる経験から「人と協力する」態度や能力

これらは広い意味で「学力」と呼ばれます。学校で「学ぶこと」は総じて、「将来自立して生きていくために自分を高めていく活動に従事する」＝「働くこと」と言えるのではないのでしょうか。